学校番号	1006

令和８年度　理科

教科	理科	科目	総合科学実験	単位数	２単位	年次	２or３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

毎授業において実験を行う。実験の内容については、化学、物理、地学、生物と理科全般にわたる幅広い分野を扱う。実験において、実験の準備物や方法を丁寧に把握し、その通りに実験を行うこと。安全に気を付けて教員の指示をよく聞き、正しい操作方法を身に付けること。実験においてその実験で明らかにしたことは何か、実験結果はどうなるか、実験結果からわかる考察は何か、ということを考えること。人に伝わる丁寧なレポートを製作し、振り返り学習ができるようにすること。

2　学習の到達目標

①実験の基本操作やレポートの正しい書き方を身に付ける。
②実験について予想、結果、考察をそれぞれ区別して考え、結果からわかることやなぜそうなったのかを分析的、総合的に考察する能力を身に付ける。
③科学な事象に対して、興味関心を持ち、知的好奇心を持って問題を見出し、
　主体的に解決する意欲を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識の習得や知識の概念的な理解，実験操作の基本的な技術の習得ができているか。	実験において、自分の予想、結果、考察をそれぞれ根拠を持って考える思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において，粘り強く学習に取り組んでいるか，自ら意欲的に実験・レポート作成に取り組んでいるか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	レポートの書き方	正しいレポートの 内容を学習する	a:レポートの項目を正しく理解している。 b:各項目に合わせて適切な内容をまとめることが出来る。 c:レポートの作成において注意すべき点に気を付けながら意欲的に学習している。	提出物	提出物	提出物
	実験の基本操作	実験の基本操作を理解する。 (実験器具の使い方、実験室の使い方、実験器具の名称)	a:実験器具の基本的な操作を理解している。 b:実験器具の使い方や注意点をなぜそのようにする必要があるかを判断し、正しく使うことができる。 c: 実験の基本操作において注意すべき点に気を付けながら意欲的に学習している。	提出物	提出物	提出物
1 ~ 3	各実験	化学分野 ・金属の性質 ・硫酸の性質 ・繊維の生成 ・芳香族化合物の性質 ・ビタミンＣの還元性 ・フェーリング反応、 銀鏡反応 ・ガスの性質 ・中和滴定 ・硬水、軟水の性質 ・アルコールの蒸留 ・粉末の同定 ・１１円電池 物理分野 ・振り子 ・静電気 ・揚力（紙飛行機） ・ペーパータワー ・ミウラ折り 生物分野 ・顕微鏡、スケッチ ・煮干しの解剖 ・チリメンモンスター ・DNA 模型の製作 ・錯覚 ・葉脈標本作成 ・反射速度の測定 地学分野 ・鉱物の観察 ・地層、断層実験	a:基本的な実験操作に従って正しく器具、薬品を扱うことができる。 実験で何を明らかにしたいか理解している。 b:実験の予想を根拠に従って持ち、説明できる。 実験の結果、および考察を、区別して考え、自分の言葉で表現しまとめることができる。 c: 各実験において班員と協力しながら安全に実験を進めようとしている。 実験に意欲的に取り組み、レポートの作成を丁寧に行うことができる。	提出物	提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度